

令和7年度事業実績報告書

令和8年4月30日

愛媛県議会議員 松尾 和久 様

議員氏名 大 西 誠



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

1 調査研究の概要

① 防災減災対策推進に向けて地域のインフラ整備にどのように取り組んでいくのか？

（目的）

愛媛県の最重要課題の一つである防災減災対策の伊予市の進捗状況は？

（調査結果）

国が推進する国土強靱化政策を愛媛県・伊予市に有用に推進する為、建設業協会や地方局と情報交換と共有を図った。北山崎海岸護岸整備・国道378号整備に加え中山町内5県道も着実に整備進行中で引続き早期完成に向けて注力していく。

② 愛媛の観光振興にどのように取り組んでいくのか？

（目的）

観光立県を重要課題に掲げる愛媛県の政策はどうか。

（調査結果）

積極的に推進してきたインバウンド政策はソウル便デイリー2便プサン便デイリー1便と韓国だけで週に21便となり県内主要観光地は連日多くの韓国人観光客が訪れ大きな成果を出している。好調な台湾路線に加え新規国際線の誘致に加え国内周遊観光客の呼び込みにも今後は注力していく。

③ 人口減少対策にどの様に取り組むのか？

（目的）

急速に進む人口減少問題を踏まえ疲弊する地域の維持活性化に向けて人口減少対策にどの様に取り組んでいくのか。

（調査結果）

特に人口減少が激しい中予圏域以外では加速度的に人口減少が進展し消滅集落が多数発生する事が危惧される。伊予市としては県都松山市の衛星都市としてその利便性をPRし人口減少食い止めに注力している。移住促進では市内中心部では近年明るい兆しが見られており引続き地域の活力維持のためにもDXの推進やワーケーション・利便性のPRにより移住促進を進め人口減少政策を推進していく。



2 その他の政務活動の概要

① 地域の声を反映する取り組みを実施

(目的)

伊予市も急速に少子高齢化と人口減少が進み、本年4月時点で33,000名程度にまで減少した。各地域の取り組みと声を少しでも反映し官民一体となって地域課題に取り組み伊予市が目標とする30,000人が住み続けれる街を目指していく。

(内容)

多くの地域行事はコロナ禍前の水準に回復したが予算の関係もあり規模縮小となる行事も散見されるようになった、積極的に地域行事に参加し、現場の声を聞き要望を取り纏める様に努めた。

各種団体との定期的な意見交換会に従来以上に積極的に参加し業界が抱える課題の把握と解決に向けた方策を共に議論してきた。

新たに伊予市が推進するJR伊予市駅前整備・ウェルピア伊予の今後の方針についても地域の声をしっかりと聞き伊予市と情報の共有を図っていく。

② 各種議連活動に積極的に参加

(目的)

幅広い議員政務活動を有効に行う為、各種議連活動に積極的に参加し意見交換会や街頭活動PRイベントを行う。

(内容)

国際交流振興議連では今年度はベトナムを訪問し技能実習生の送り出し機関の視察研修とインバウンドの推進取り組みを行った。拉致議連では家族会の高齢化を再認識し、引き続き全拉致被害者の完全帰国までの活動継続を誓い合った。